

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	地域と連携した学校づくり		施策No	04-09	部課名	教育委員会事務局指導室	
					課長名	津野	内線
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課						
行政評価 事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				

目的 地域社会に開かれた学校づくりを進め、地域と一体となった学校教育を推進していく。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	親子コミュニケーションの充実度	4.02	4.04	-	親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？
②	子育て・教育環境の満足度	3.54	3.59	-	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？
③	地域の子育てへの理解・協力	3.40	3.52	-	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	地域と協力してより良い学校を作っていると感じる保護者（％）	73.5	75.0	73.0	74.5	80.00	「学校関係者評価」より
②							
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
行政費用	給与関係費	5,696	5,644	▲ 52	地方税等	0	0	0	
	物件費	12,212	12,998	786	国庫支出金	0	117	117	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	6,058	3,974	▲ 2,084	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	180	0	▲ 180	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	180	117	▲ 63	
	賞与・退職給与引当金繰入額	510	2,003	1,493	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 24,296	▲ 24,502	▲ 206	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	24,476	24,619	143	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 24,296	▲ 24,502	▲ 206	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 24,296	▲ 24,502	▲ 206		

貸借対照表	勘定科目				勘定科目	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	196	184	▲ 12	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	196	184	▲ 12	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	0	0	0	固定負債	1,406	2,994	1,588	
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	1,406	2,994	1,588	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,602	3,178	1,576	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 1,602	▲ 3,178	▲ 1,576		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 1,602	▲ 3,178	▲ 1,576		
資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用としては物件費の割合が高くなっており、主に学校パワーアップ事業（未来を拓く子どもの育成）における需用費や使用料等が占めている。給与関係費及び賞与・退職給与引当金繰入額は、人事異動・業務分担の見直しによる職員体制の変更により、差額が生じている。補助費等は、主に学校パワーアップ事業（未来を拓く子どもの育成）における報償費が占めている。行政収入は、令和元年度は体験学習事業における参加者負担金、令和2年度は鮭の里親事業における地方創生推進交付金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○学校の授業や教育活動について、保護者や地域に理解・啓発できるよう、区立小中学校を一斉に公開する期間を設けている。</p> <p>○学校だよりやホームページ等を活用し学校から地域に情報発信している。</p> <p>○地域の声を反映した学校運営を推進し、学校と地域との一層の連携を図るために、学校評議員制度を実施している。また大学等と連携した学校評価を実施している。</p> <p>○各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等において、専門的な技能や知識、経験を有する地域の方々から「専門的な講話」、「体験談」、「専門的技能の実演」、「体験的な学習」等の支援をいただいている学校がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な取組に影響が出ている。</p>
課題	<p>○学校運営や教育内容等について、学校の意図的・計画的な取組を理解していただくとともに、保護者や地域の意向を的確に把握する必要がある。</p> <p>○ホームページを定期的に更新し、学校から積極的に地域に情報発信をする必要がある。</p> <p>○学校評議員会の適切な人材確保、協議内容の質の維持・向上を図る必要がある。</p> <p>○専門的な技能や知識、経験を有する地域の方々などの視点を生かした教育を展開し、地域と連携した活動を充実させる取組を区内の多くの学校へ広めていくことを継続する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、地域と共に歩む姿勢を維持する必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止の視点をもちながら地域との連携を深めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○区立小中学校が保護者や地域住民の意向も踏まえつつ、生きる力を育む知・徳・体をバランスよく育てる教育活動を推進していく。</p> <p>○学校行事等のお知らせや、学校での取組等を地域の掲示板を活用し周知する等の連携に努める。</p> <p>○学校の教育活動を地域に知っていただくために、どのような関わりを展開していくかを模索する。</p> <p>○地域の方々と触れ合い、講話を聞くことや、体験することにより、子どもたちの郷土や地域社会に対する興味や関心を高め、各学校における地域に根ざした特色ある教育活動の充実を図る。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点も踏まえ、必要に応じて地域との適切な関わり方を模索していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	保護者や地域に対する説明責任を果たすとともに、学校経営の透明性と信頼性の向上を目指すことにより、地域に開かれた学校づくりを重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
P T A 活動支援	13-01-17	3,767	3,400	529	259	推進	推進	保護者・教師・地域が連携して子どもの健全育成を図るために、P T A 活動の支援を推進する。
学校関係者評価（学校評議員制度、学校評価制度）	13-04-01	2,103	2,644	894	809	継続	継続	地域住民の信頼に応え、開かれた学校づくりを継続する。
学校パワーアップ事業（未来を拓く子どもの育成）	13-04-27	18,606	18,574	16,847	15,904	重点的に推進	重点的に推進	各学校・幼稚園・こども園が学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業を展開するよう促す。
合 計		24,476	24,618	18,270	16,972			